

北海道函館水産高等学校

船員職業説明会で船と船員への理解を深める

12 月 10 日、北海道函館水産高等学校において、執行部・職場委員を講師として、本科 1 年生から 3 年生を対象に船員職業説明会を行った。

本説明会は、生徒に対し、より海上職業への関心を深めてもらう目的で、例年この時期に実施しており、海洋技術科 22 人、機関工学科 18 人の合計 40 人が出席した。

開催にあたり、若松信弘道南支部長代理から「船員の船内生活や現状など、授業カリキュラムにはない講義をするので、この機会が皆さんの将来にプラスになるよう願います」とあいさつした後、福島隆吏在籍専従執行部員から船員職業の説明、また、津軽海峡フェリーの山崎主一職場委員、昭和日タンマリタイムの加藤典嗣職場委員から、フェリーや内航船の船内生活や船員の魅力について、体験談を交えながら説明し、説明会を終了した。

学校側からは「船員職業の魅力を生徒に伝えていただき感謝している。今後もこの説明会を通じて、より多くの生徒達に船員の魅力を伝えていただきたい」と、海員組合の継続的な出前講座の協力をお願いしたいとの意向が示された。出席した生徒達は、自身の船員姿をイメージしながら、現役船員の説明を聞き、船と船員への理解を深めた。

「海員だより」